

# 良い羊飼い

シリーズ～預言者の声～

2021/12/5

アドヴェント第2週

# マタイ福音書1章16～21節

ヤコブはマリアの夫ヨセフをもうけた。このマリアからメシアと呼ばれるイエスがお生まれになった。こうして、全部合わせると、アブラハムからダビデまで十四代、ダビデからバビロンへの移住まで十四代、バビロンへ移されてからキリストまでが十四代である。

イエス・キリストの誕生の次第は次のようであった。母マリアはヨセフと婚約していたが、二人が一緒になる前に、聖霊によって身ごもっていることが明らかになった。



夫ヨセフは正しい人であったので、マリアのことを表ざたにするのを望まず、ひそかに縁を切ろうと決心した。このように考えていると、主の天使が夢に現れて言った。「ダビデの子ヨセフ、恐れず妻マリアを迎え入れなさい。マリアの胎の子は聖霊によって宿ったのである。マリアは男の子を産む。その子をイエスと名付けなさい。この子は自分の民を罪から救うからである。」

# ヨセフへのお告げ

- 婚約者マリアの不貞の知らせ
  - ヨセフと婚約していたマリアが身ごもっているとの知らせがあった
- ヨセフはマリアとひそかに縁を切ろうとする
  - 本来ならマリアを石打ち刑にすることもできたが
  - 彼は神の前に「正しい人」であったので、マリアの幸せを優先しようと考えた
- そこに現れた主の天使が告げたこと
  - マリアを妻として迎え入れなさい
  - マリアは聖霊によってみごもった
  - 生まれてくる男の子を「イエス」と名付けなさい

なぜヨセフが選ばれたのか？



# ダビデの子孫から

- 系図の数字に表れた神の計画
  - ヨセフはダビデの直系の子孫であった
  - アブラハム<7+7>ダビデ<7+7>バビロン移住<7+7>イエス様
  - 救いの計画はアブラハムの時に始まっていた！
- ダビデ王の子孫から救い主が生まれる
  - 預言者たちは(イザヤ・エレミヤ・エゼキエル...)は繰り返しそのことを告げた
- 預言者の言葉に敏感だった当時の人々
  - かつて預言者の警告を無視して国を追われた
  - 再び同じ目に遭わないために、そしてやがて訪れる回復を信じて預言書を繰り返し読んでいた



## エレミヤ書23章1～6節

「災いだ、わたしの牧場の羊の群れを滅ぼし散らす牧者たちは」と主は言われる。それゆえ、イスラエルの神、主はわたしの民を牧する牧者たちについて、こう言われる。「あなたたちは、わたしの羊の群れを散らし、追い払うばかりで、顧みることをしなかった。わたしはあなたたちの悪い行いを罰する」と主は言われる。「このわたしが、群れの残った羊を、追いやったあらゆる国々から集め、もとの牧場に帰らせる。



群れは子を産み、数を増やす。彼らを牧する  
牧者をわたしは立てる。群れはもはや恐れる  
ことも、おびえることもなく、また迷い出ることも  
ない」と主は言われる。見よ、このような日が  
来る、と主は言われる。わたしはダビデのため  
に正しい若枝を起こす。王は治め、栄え／こ  
の国に正義と恵みの業を行う。彼の代にユダ  
は救われ／イスラエルは安らかに住む。彼の  
名は、「主は我らの救い」と呼ばれる。

# 預言者エレミヤ

- **イスラエル(南ユダ王国)滅亡期の預言者**
  - ヨシヤの治世に預言者として召され、バビロン捕囚後もしばらく活動した
  - 北イスラエル王国は既に滅ぼされ、南ユダ王国もバビロンとエジプトに挟まれ危機的状态
- **その原因の一つは羊飼(王)にあった**
  - ヨシヤ王の死後、ヨアハズ(3か月)、ヨヤキム(11年／エジプトの傀儡・第一回バビロン捕囚)、ゼデキヤ(11年・エルサレム陥落)
  - 「彼は先祖たちが行ったように、主の目に悪とされることをことごとく行った。」列王下23:32,37



# 優れた羊飼い(王)の出現

- 主がイスラエルを集めるとき、優れた羊飼い(王)が現れる
  - 「彼らを牧する牧者をわたしは立てる。群れはもはや恐れることも、おびえることもなく、また迷い出ることもない」
- その羊飼いはもちろんダビデの再来
  - 「ダビデのために正しい若枝」
- その王の到来は主の正義と恵みをもたらす
  - 「主は我らの救い」: 原語では「正義」(ツエデク)
  - 「王は治め、栄え／この国に正義と恵みの業を行う」

# 現れた「良い羊飼い」

- イエス様は自らを「良い羊飼い」と呼ばれた
  - 「わたしは良い羊飼いである。良い羊飼いは羊のために命を捨てる。」ヨハネ福音書10:11
  - イエス様の思いの中に預言たちの言葉があったのではないか
- 「正義と恵みの業」としての十字架の死
  - 罪を裁く神の正義
  - 罪を赦す神の恵み(愛)





# わたしたちの王の到来

見よ、このような日が来る、と主は言われる。わたしはダビデのために正しい若枝を起こす。王は治め、栄え／この国に正義と恵みの業を行う。彼の代にユダは救われ／イスラエルは安らかに住む。彼の名は、「主は我らの救い」と呼ばれる。